

質問5. 所属する学会について<複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	なし
※	日本遺伝子細胞治療学会
※	日本再生医療学会
※	所属学会なし。リタイアしてから癌の基礎を学びたいと思い、癌学会と分子生物学会に参加している。どちらの学会もとてもエキサイティングである。
※	情報処理学会
※	日本細胞外小胞学会
※	ゲノム微生物学会, 進化学会
※	日本動物学会
※	日本ミトコンドリア学会、日本エピジェネティクス研究会、日本プロテオーム学会、日本食品免疫学会
※	日本古生物学会
※	日本サイトメトリー学会、日本抗体学会
※	日本薬学会

質問6-4. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて〈複数回答可〉（適切でないと感じる点）

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
※	記述なし

質問6-6. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	翻訳がひどかった。テーマが面白く、興味のある先生方が多かったので、オンサイトでも聞きたかった。
※	ハイブリッド+オンデマンドで、全て一緒にやれば良いだけ。何をやりたいのか、わけがわからない。
※	期間が長く、細切れになるため、結果的に拘束時間が長くなってしまうのが少し気になった。オンデマンド配信に期待。
※	オンライン先行開催と従来型の年会という、意欲的な試みであった。その反面、複雑で、日程的にも、どちらに参加しようかと迷いながら、遂に、どちらも参加せずに終わってしまった。とても残念である。従来型の日程で、Zoom参加も可能な形の開催を望みたい。

質問7-2. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（適切でないと感じる点）

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
※	18テーマ/時間帯は、選択幅が大きすぎる。これの1/2～1/3に納めて欲しい。(専門特化か、Generalistかのバランスは難しいが、若い世代に全体的ヴィジョンを育成する使命も大会には有るのではないか、ポスターセッションとの時間の配分は、難しくなるが！)

質問7-10. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	講演内容により多くの聴講者が集まり立っておられる方もおり、運営を依頼している業者におおよその参加人数を把握し、次回の運営の参考にしてはどうだろうか。
※	ライブ配信, オンデマンド配信すべき。
※	Junior女性が多いとの印象が30%quarterの結果であったと納得。彼女らの成長が大いに期待できる。老重鎮の比率が減って、全体に若返りのfrontierの息吹を感じ、コロナダメージ後のrefreshが期待された。女性quarter制を大胆に導入しないと、日本の能力向上について、世界の流れに追いついていけない(1976-90年の13年間米国で成長した小生の実感)

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターの並べ方を工夫していない。似たものが集まるような工夫。
※	サイエンスピッチよりポスター発表に時間をかけるべきと思う
※	教育研究運営現場をretireしないと(retire頃燃え尽きてしまう方々、直ぐ死んでしまう方々も結構いるが)、時間的にgeneralな視点でサイエンスを楽しむことができる立場にならない。のびそうな若者のポスター前で議論する時間は楽しい。普段の勉強の成果を、次世代に還元できる場があると、益々勉強が楽しくなる。
※	演題検索でポスター番号が分かってもどの会場なのかわからない上、会場にあるボードに会場と番号の対応がないので、すべての会場を探す必要があり苦労した

質問9. オンサイト会期中の各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	全てをハイブリッドとオンデマンドで。
※	ポスター発表の時間をもっと長くって欲しい。
※	ポスター発表を、発表者が自分はこの時間帯(複数)にポスターに張り付いていますと自己申告掲示させ、ポスター発表時間帯を全日に拡大し、シンポジウム数/時間帯を少なくして、シンポジウムとポスターを同時時間帯開催でダイナミックに行き来出来ると、参加者のトピックカバー率が向上出来るのではないか。

質問10. フォーラムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	全てをハイブリッドとオンデマンドで。
※	参加したかったフォーラムがいくつか被っており参加できないものがあり残念だった。長さは良いものの時間帯もなかなか参加しにくい時間にもある。
※	会場の都合で、フォーラム終了後晩飯であったが、会場で小食出来るよう入口でサンドイッチ等が購入できて、食べながら参加できればと思った。

質問11. 年会の発表言語について(本年会では、指定企画シンポジウム:英語、公募企画シンポジウム:オーガナイザーに一任)＜複数回答可＞(その他)

回答者 番号	その他記述
※	英語の発表には日本語の自動翻訳で字幕を、日本語の発表には英語の字幕をいれるなどは可能と思う。検討をお願いする。分野の異なる講演で専門用語がわからなかったりすると話が見えなくなるので。
※	段々参加者の英語の質が向上している(1990年代に比べたら、隔世の感がある)。英語onlyにして、国際的な学会を目指して欲しい。(日本のoriginalityを認めさせる為にも、もっと海外留学を促進させる為にも、やや無理があっても、行かなければならない方向に先導後押しすることは避けられない)。
※	英語で発表する場合、事前に、原稿についてネイティブスピーカーにチェックしていただくようにし修正を入れてから発表する。(聴講していて発表者の英語が正しいのかどうか気になったため)

質問13. 年会の参加登録/演題登録/要旨・プログラム検索/視聴サイトプラットフォーム一体型システム (AGRISMILE社ONLINECONF;オンライン講演セッションはZoomウェビナーで開催)や当日のトラブル対応などのオンラインサポート体制についてお聞きします<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	検索サイトが特に使いにくかった。検索機能が機能しておらず、例えば苗字名前を入れて検索しても、苗字だけヒットした方がたくさん出てきて、困った。やはり本の抄録が手元に欲しいと感じた。
※	ポスターをmy scheduleに登録する方法がわからなかった。
※	プログラム及び参加者の検索システムが少し使いにくかった。
※	オンライン発表、及びオンサイト発表をネットで発表後review出来るようにできないか？
※	オンラインの演題検索をしてもどの会場で行われるのかよくわからなかったので、タイムテーブルでいちいち確認する必要があったのが手間だった

質問20. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします（その他）

回答者 番号	その他記述
※	記述なし

質問21. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	建物が沢山分かれていて移動が大変でしたし、発表者としても聞いてくれる方が減った気がして不満でした。ポスター会場を1つにまとめ、企業展示エリアとポスターエリアを分けるのがいいと思います。また、参加証が大きすぎるので、もう少し小さくして両面にするとか、同じ大きさを裏側に地図を載せるとか、工夫の仕方はもっとあったかなと思います。追加で、飲食スペースがほぼないのも気になります。冬の開催なので、皆食べるところがなくて外で座っているというのはいかがかなと思いました。
※	ポケットプログラムに会場WiFiのパスワードを記載してほしい。
※	全てを「ハイブリッド+オンデマンド配信」に。Q19にオンデマンド配信が言及されていないのは、アンフェアでしょう。
※	デジタルスタンプラリーや利き酒コーナーなど様々な企画があり、イベントとしても面白かったが、抽選のタイミングがわからずスタンプを集めるだけ集めて無に期してしまったため(それだけ集めて本来の学术交流をしない人たちが先んじて抽選し去っていった)、その辺りの工夫があると良い。
※	大規模大会の御苦労、誠に有り難うございます。分子という切れ口で、諸生物学、医学、バイオ産業、健康生活等を横断的に俯瞰出来る事、そのユニークな役割を、今後とも、宜しく願い申し上げます。
※	オンサイト講演と、オンサイトかつオンライン講演を、両立させることを希望します。
※	参加章に分野のシールを貼るのは理解できるが、身分のシールがあるのにはある種の違和感を感じた。ただ個人的には多くの参加者が身分のシールを貼らない中でどのような人物が教授のシールを貼っているのかを見るのは面白かった。
※	職場を休めないため現地へ行くことができません。今回のようにオンデマンド配信をしていただけると空き時間を利用して聴講できるので助かります。